

別記様式第6号

足利市入札適正化委員会議事概要（平成27年度 第2回）

開催日及び場所	平成28年2月24日（水） 午後2時00分～4時00分 足利市役所 第一委員会室	
委員	小林 康昭 委員長 森田 作雄 委員 岡本 篤典 委員 荘司 円香 委員	
審議対象期間	平成27年4月1日～平成27年9月30日	
抽出案件	4件	(備考) 総件数 148件 一般競争入札 30件 指名競争入札 117件 随意契約 1件
一般競争入札	2件	
指名競争入札	2件	
随意契約	0件	
会議の概要 (1) 委員長の選出について 委員の互選により小林委員を委員長に選出 (2) 委員長職務代理者の指名について 委員長が森田委員を指名 (3) 抽出事務当番委員の選出及び抽出件数について 審議の対象となる事案の抽出は、当番委員に委任することとなり、今回は全員が再任のため、事務局からの依頼で、小林委員長が担当。次回以降は森田委員、岡本委員、荘司委員の順で担当することとした。また、抽出案件は4件とすることとした。 (4) 入札及び契約手続の運用状況等について (事務局より説明) ◇発言の要旨 ●委員 落札率の表記が前回までは小数点第一位までだったのが、今回は小数点第二位まで表記されているのはなぜか。 ○事務局 平成27年度から、契約管理クラウドシステムを導入した。前回までのシステムとは異なるため、データの表記が変わってしまっている。		

(5) 抽出事案の審議

①山辺西部第二土地区画整理事業 事業計画書(変更)作成等準備業務委託
(事務局より説明)

◇発言の要旨

質問等なし

②市立第三中学校校舎外壁改修工事
(事務局より説明)

◇発言の要旨

●委員

変更契約はどのように行うのか。見積もり等を徴収して行うのか。それとも、面積当たりの単価で金額を出しているのか。

○事務局

数量については、請負業者が現地で精査して、担当監督員と協議をしている。その結果、設計書と異なる箇所を洗い出している。今回は増工ということであるが、変更となった箇所については、工種毎に公共単価が決まっているので、それに従って積算している。そして、算出された変更設計額に当初の請負率を乗じて、実際の変更請負額を算出し、増額分を出している。

●委員

当初設計に比べて、工事面積が増えてしまったのはどうしてか。

○事務局

当初、建設時の設計図を元に、現場で地上からの目視確認をし、そのデータに基づいて改修面積を積算した。今回の場合、P26の図面にある、管理教室棟東側立面図と普通教室棟東側立面図において、タイルが複雑に入り組んでおり、当初の目視点検時には分からなかったが、足場を組んでから、判明した箇所があり、施工面積の増加となった。

●委員

今回くじで落札者が決定したということで、変更増額分が最初から分かっていたら、入札の結果も変わっていたかもしれない。事前に面積を精査する必要があったのかもしれない。

○事務局

今後はそのように努めていきたい。

③配水管布設替工事(市道助戸3丁目23号線外)
(事務局より説明)

◇発言の要旨

●委員

設計変更について、既設配水管、送水管、ガス管、雨水管との離隔を確保するための変更ということであるが、当初工事前には分からないものなのか。当初から分かっていたら、入札結果も違うものになっていたかもしれない。

○事務局

事前に埋設物の台帳や過去の工事の資料等を確認しながら、現地に行き、マンホールの位置が合っているか、舗装を行った箇所等の確認をし、ガス管や下水道管の位置がどこにあるかをある程度想定し、新しい水道管をどの位置に埋設するのかを決めて設計をしている。道路の真ん中に埋設できれば一番いいが、交通規制等の関係で路肩に寄せて埋設することが基本となる。他の埋設物の支障にならない場所を見極めて設計している。ただ、実際に現場に入ると資料と異なることが多々ある。今回の場合は、当初の設計よりガス管が深く埋まっており、その下に配水管を通す計画のため、曲管部材を増やす必要が発生した。また、それに伴う、舗装面積の増加により変更増ということになった。

④足利市公共下水道 福居町地区溢水対策工事

(事務局より説明)

◇発言の要旨

質問等なし

◇まとめ

(抽出事案の入札関係の業務が概ね適正に執行されていたか?)

●委員一同

概ね適正であったと判断できるが、変更増額が大きい工事が見受けられるので、当初設計時に現場をよく精査し、設計を行ってほしい。